

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		戦没者遺族等援護事業		担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3306	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	3	地域で支え合って生活できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市戦没者遺族援護活動補助金交付要綱					
	小項目	1	地域福祉の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		戦没者2,558柱を追悼するため、遺族、各種団体、市民等の参列のもと、追悼式を挙げる。また、市遺族会及び地区遺族会に戦没者遺族援護活動補助金を交付するものである。								
目的 ※何のために		戦没者の追悼慰霊や戦没者遺族援護の推進を図るため。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市遺族会、深谷市遺族会を構成する各地区遺族会及び市民等。								
手段 ※どのように		追悼式を挙げるることにより、戦没者に哀悼の意を表す。また、市遺族会等へ補助金の交付を行う。								
成果 ※何を求めるか		戦没者追悼式の挙行及び遺族会への補助金を交付することで、戦没者への弔意及び遺族への援護を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	戦没者遺族等援護事業	1,375,854
本事業の 主な業務		・戦没者追悼式の挙行					・			
		・戦没者遺族援護活動補助金の交付					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付	戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付	戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付	戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付	戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付	戦没者追悼式の挙行 戦没者遺族援護活動補助金の交付
事業費	予算(現額)	1,821,000	1,816,000	1,652,000	1,895,000	1,971,000	1,595,000
	決算額	1,586,625	1,096,196	1,215,295	1,178,951	1,375,854	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	1,860	930	930	930	1,000
	一般財源	1,584,765	1,095,266	1,214,365	1,178,021	1,374,924	1,594,000
人件費	従事職員数(人)	0.49	0.45	0.50	0.65	0.62	0.67
	人件費相当試算※	3,811,710	3,501,900	3,930,500	5,288,400	4,812,388	5,448,003
総事業費試算		5,398,335	4,598,096	5,145,795	6,467,351	6,188,242	7,043,003

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	追悼式案内状発送数		目標値	通						
			実績値		1085	1012	989	900	878	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発送枚数の大小は行政の努力で左右されるものでないことから、目標値は設定しない / 遺族及び関係団体会員数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	補助金交付団体数		目標値	団体						
			実績値		10	9	10	10	10	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		請求団体数による / 市遺族会＋地区遺族会団体数							
	実績値の算出式									
活動指標 3	戦没者遺族会への補助金交付額		目標値	千円						
			実績値		661	509	611	231	268	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		補助金申請額による / 補助金交付実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	遺族の出席率		目標値	%	10	10	10	10	10	10
			実績値		14.2	13.5	14.5	29.61	32.2	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成２０年度実績値 / 遺族出席者数÷案内状送付枚数							
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	追悼式案内状送付数は、令和2年度の900通に対し令和3年度は878通であった。また、活動実績のある市遺族会と地区遺族会に対し、戦没者遺族援護活動補助金を支給した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	追悼式における遺族の出席率は、令和2年度の29.61%に対し令和3年度は32.2%であった。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	追悼式の実施について、駐車場の案内係などの事務について外部委託したことで、対応する職員数を減らし時間外勤務の縮減につなげることができた。
			評価者 福祉政策係長 関根 秀典

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	戦没者遺族等援護事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3306
<div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>令和2年度から、追悼式の実施場所について、高齢遺族に配慮したフラットな会場として深谷市役所新庁舎1階ロビーへ変更するとともに、式典を休日に開催したことで、遺族の出席率は令和2年度の29.61%に対し令和3年度は32.2%と向上してきている。今後も追悼式典の開催及び遺族会への援護を継続して実施していく。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	福祉政策課長 茂木 隆行				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

